

2019年3月期 決算説明資料

 川澄化学工業株式会社

2019年5月15日

説明内容

2019年3月期 決算の概要

2020年3月期 通期の業績見通し

トピックス

2019年3月期

決算の概要

連結

金額：百万円

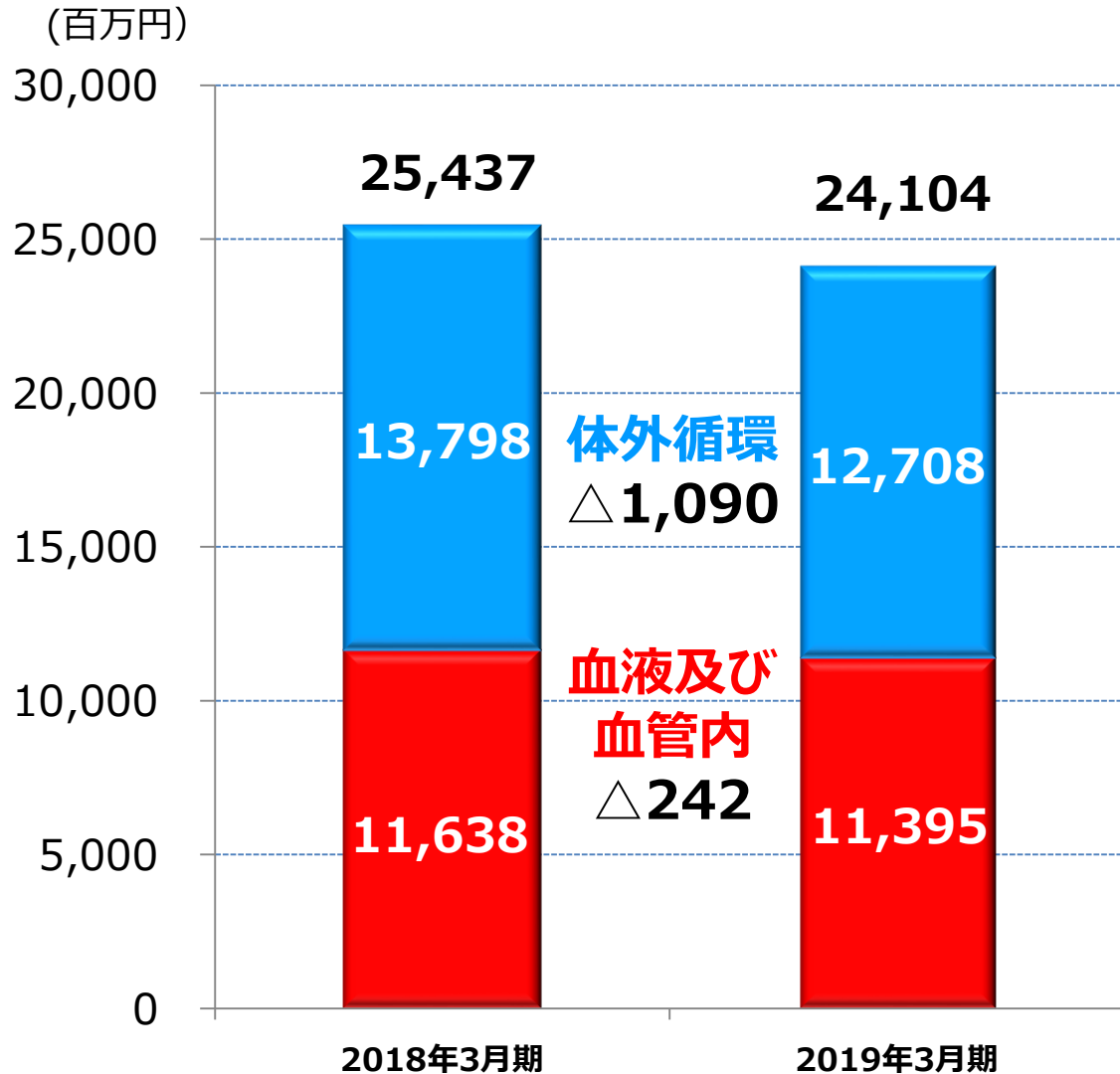
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率
売上高	25,437	24,104	△1,332	△5.2%
売上総利益	8,682	8,208	△474	△5.5%
営業利益	687	598	△89	△13.0%
経常利益	788	787	△1	△0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	440	186	△253	△57.5%

為替レート	2018年3月期	2019年3月期
US\$	110.70	111.07
EUR	130.32	128.78
Baht	3.36	3.43

- **売上高** : 撤退品（構造改革）や成分採血キット、生理食塩液等の販売減少により減少。
- **売上総利益** : 売上高の減少などにもない減少。
- **営業利益** : 一般管理費の削減があったものの、売上総利益の減少および研究開発費の増加により減少。
- **親会社株主に帰属する当期純利益** :
特別利益（投資有価証券売却益）を計上した一方、特別損失（構造改革費用）の計上により減少。

2019年3月期

売上高 (セグメント別)



【体外循環関連】

【増加】 透析用血液回路
血液浄化用フィルター

【減少】 ダイアライザー (国内)
生理食塩液

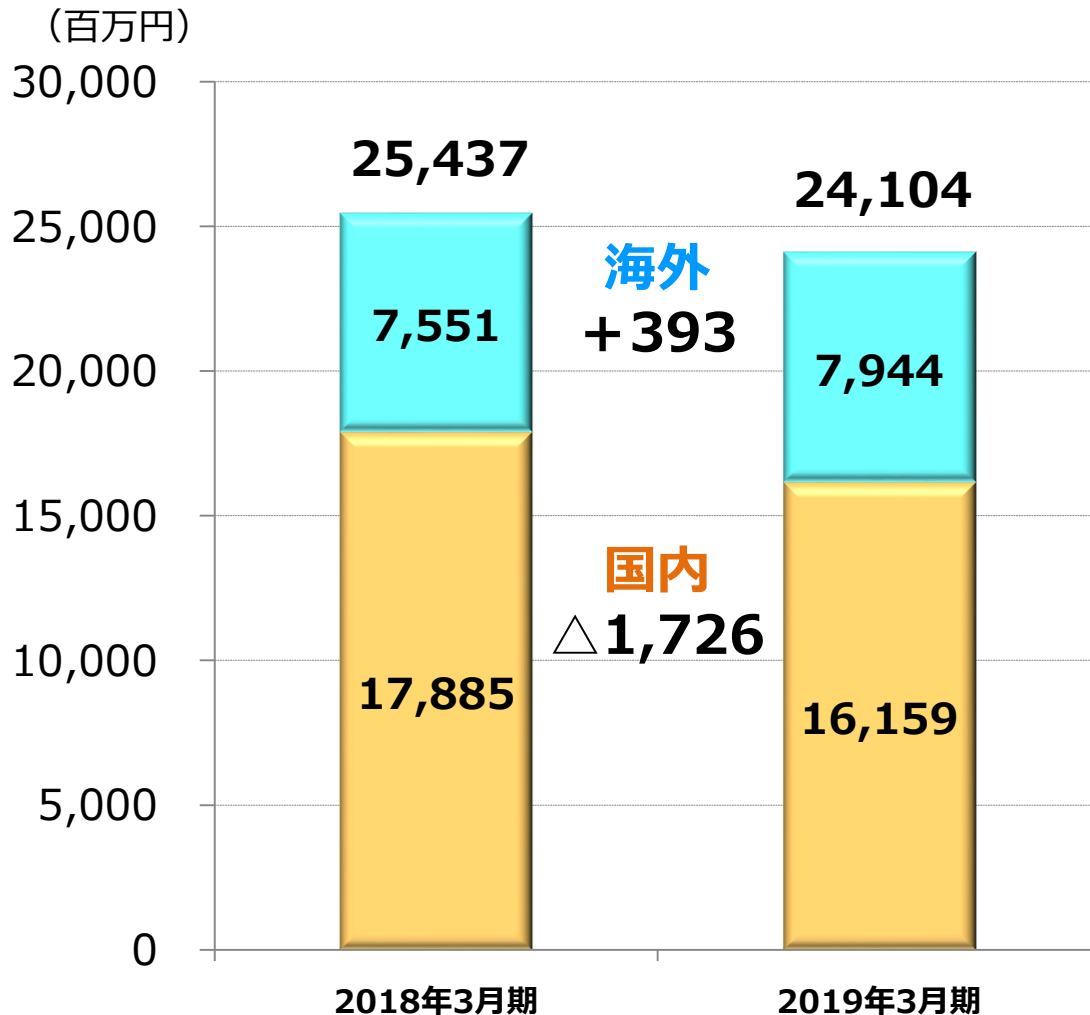
【血液及び血管内関連】

【増加】 スtentグラフト (国内)

【減少】 輸液ポンプ用回路
成分採血キット (OEM)

2019年3月期

売上高（国内外）



【海外】

【増加】 血液浄化用フィルター

【減少】 AVF針

【国内】

【増加】 スtentグラフト

【減少】 ダイアライザー
生理食塩液
成分採血キット (OEM)

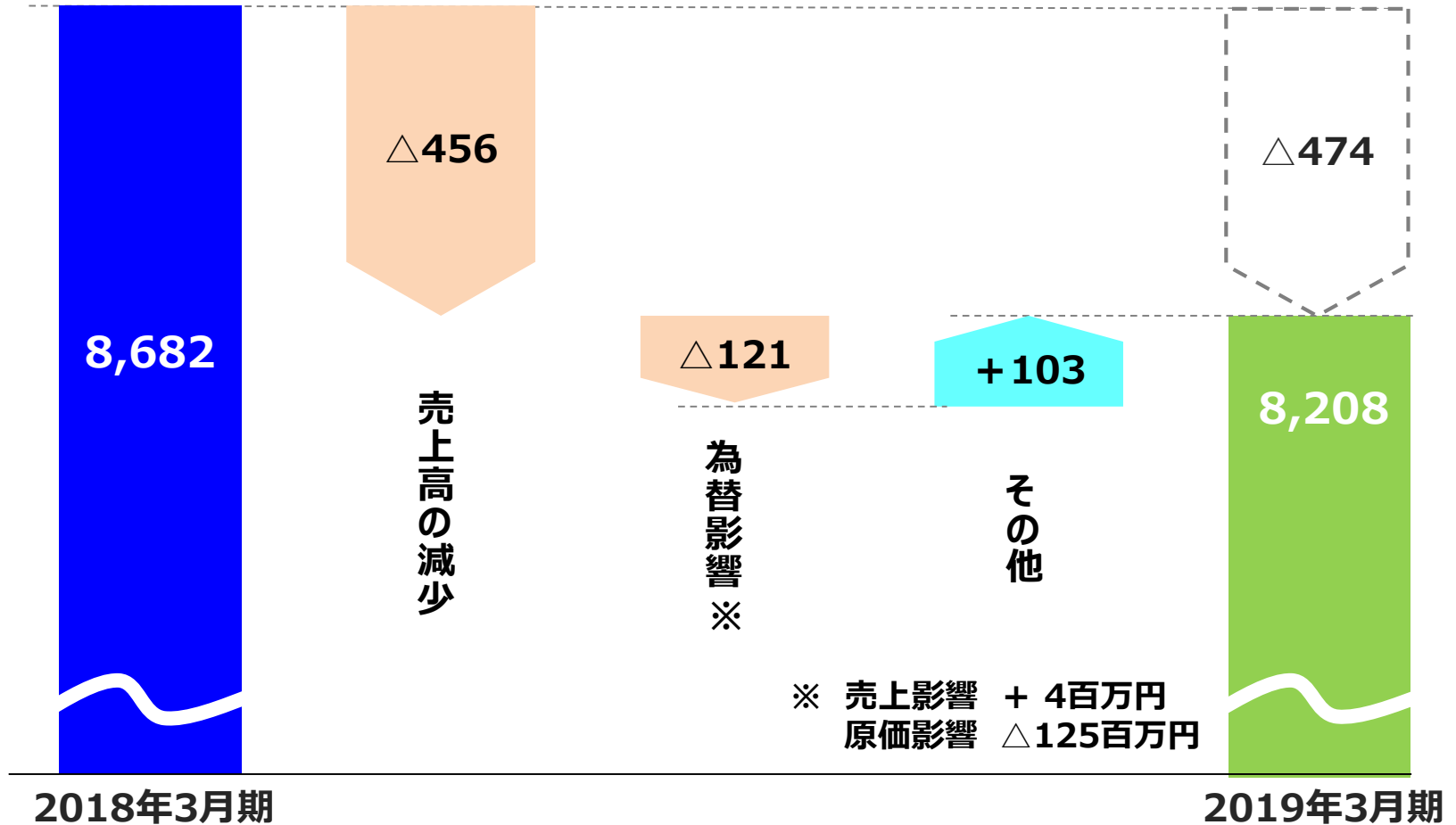
2019年3月期

売上総利益の増減要因

<前年同期比>

(単位：百万円)

前年同期比



2019年3月期

販売費および一般管理費

連結

金額：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	増減額
人件費	3,514	3,208	△306
運送費	900	854	△46
その他	3,581	3,547	△19
合計	7,995	7,609	△386
内) 研究開発費	1,100	1,185	+85

- 人件費 : 効率化効果等により減少。
- 運送費 : 販売減少および配送の輸送効率化効果等により減少。
- 研究開発費 : 癒着防止材治験費用等により増加。
- その他 : 手数料の減少ほか。

中期経営計画と実績の比較

連結

金額：百万円

	中期経営計画 (2019年3月期)	実績 (2019年3月期)	増減額	差異の主な理由
売上高	23,000	24,104	+1,104	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の在庫積み増し (撤退品・生産移管品) 海外浄化製品の販売増
売上総利益	7,800	8,208	+ 408	
営業利益	▲300	598	+ 898	<ul style="list-style-type: none"> 売上総利益の増加 研究開発費 (16億→12億) の未消化および翌期繰越
経常利益	▲200	787	+ 987	
特別利益	0	1,303	+1,303	<ul style="list-style-type: none"> テルモ社株式の売却益
特別損失	1,500	1,681	+ 181	<ul style="list-style-type: none"> 在庫廃棄損の前倒し
税引前利益	▲1,700	409	+2,109	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲1,700	186	+1,886	

中期経営計画1年目は計画どおり進捗。

生産終了や拠点統廃合、またそれにとまなう希望退職などの構造改革はいずれも計画どおり完了。また、胆管ステントも計画どおり上市し、その他新製品の研究開発も進行中

＜中期経営計画3本柱＞

1

体外循環事業の見直し

⇒国内生産ダイライザーの生産終了
国内営業拠点の集約および人員適正化完了

2

血管内分野の拡大と新分野への進出

⇒胆管ステントの上市と全国展開開始（2019年4月）
腹水濾過濃縮器の製造販売承認取得（2019年1月、4月）

3

生産性の向上

⇒国内外生産一元管理のための生産管理部設置（2019年4月）
人事・処遇制度の改定準備

2020年3月期見通し

2020年3月期の見通し（前期比）

連結

金額：百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	24,104	22,200	△1,904	△7.9%
営業利益	598	300	△298	△49.9%
経常利益	787	400	△387	△49.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	186	300	113	60.5%

為替レート	2019年3月期 (実績期中平均)	2020年3月期 (前提条件)
US\$	111.07	110.0
EUR	128.78	125.0
Baht	3.43	3.50

- **売上高** : 不採算事業からの撤退影響に加え、先期に発生した顧客側の在庫調整などにより減少見込み。
- **営業利益・経常利益** : 売上高の減少や研究開発費の増加、為替・原燃料高影響などによる減益見込み。
- **親会社株主に帰属する当期純利益** : 構造改革費用の発生がなくなることから増益見込み。

2020年3月期見通し

2020年3月期の見通し（中計比）

連結

金額：百万円

	中期経営計画* (2020年3月期)	予想 (2020年3月期)	増減額
売上高	21,500	22,200	+700
営業利益	100	300	+ 200
経常利益	200	400	+ 200
親会社株主に帰属する 当期純利益	100	300	+200

* 2018年5月15日発表値

研究開発費	1,500	1,400	△100
-------	-------	-------	------

- **売上高** : 国内向け血液回路・血液浄化関連製品などの販売増により増加見込み。
- **営業利益** : 治験の進捗遅延により研究開発費が計画より減少。その他販売費及び一般管理費の削減とあわせて、利益が増加する見込み。

・ 住友ベークライト社との資本業務提携

- 当社と住友ベークライト社は2019年3月20日付で資本業務提携契約
- 住友ベークライト社は当社株式を議決権ベースで23%取得



今後の協議・検討事項

- ✓ 医療機器製品に関する情報等の共有および当該情報に基づく次世代医療機器製品の共同研究・開発の可能性
- ✓ 国内外拠点の相互活用
- ✓ 住友ベークライトが有するポリマー分析・評価技術の川澄化学工業医療機器製品への活用

 川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社

経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : H6keieikikaku@kawasumi.jp